

授業科目	生活環境学	3 学年・後期・1 単位 (15 時間)	
		理学	必修

科目担当責任者	佐々木健史 (保健医療学研究棟 E406 号) e-mail : t-sasaki@sapmed.ac.jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員	(内山英一)、田代英之		
概要	環境は、障害や老化により心身の機能が低下している方にとって、自立や QOL を規定する重要な要因となる。本科目では、ICF の考え方にならない、健康や活動と環境の相互作用を理解し、その上で環境調整のための評価と方法論を学習する。また、住環境整備や福祉機器の選定に関する知識・技術を習得する。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 環境とは何かを理解し、さらに健康との相互作用を説明できる。 2. 環境が運動・動作に及ぼす影響を理解できる。 3. 生活環境支援の基本的理念と関連法規を理解できる。 4. 運動・動作に必要な物的・環境的要件を理解し、対象者の特徴に応じた福祉機器選定・環境整備を提案できる。 5. 福祉のまちづくりの理念を理解する。 		
関連科目	理学療法概論・日常生活活動学・日常生活活動学演習・地域理学療法学・神経障害理学療法学		
評価	評価対象	評価割合 (%)	備考
	試験	100%	
教科書	①細田多穂他 [2020] 「生活環境学テキスト(改訂第2版)」 南江堂		
参考書	指定なし		
履修上の留意点			

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	理学療法における環境の捉え方とその変遷	事前:教科書指定範囲の予習 事後:授業内容の復習	講義	佐々木
2	屋内・屋外環境、環境と運動・行為	事前:教科書指定範囲の予習 事後:授業内容の復習	〃	〃
3	障害者に対する環境と適応	事前:教科書指定範囲の予習 事後:授業内容の復習	〃	〃
4	環境整備と関連法規	事前:教科書指定範囲の予習 事後:授業内容の復習	〃	田代
5	住環境整備の進め方	事前:教科書指定範囲の予習 事後:授業内容の復習	〃	田代
6	バリアフリーとユニバーサルデザイン	事前:教科書指定範囲の予習 事後:授業内容の復習	〃	〃
7	福祉用具・社会生活用具による生活支援 1:シーティング	事前:教科書指定範囲の予習 事後:授業内容の復習	講義・演習	(内山)
8	福祉用具・社会生活用具による生活支援 2:車椅子	事前:教科書指定範囲の予習 事後:授業内容の復習	〃	〃